

消費生活センター

子どもがオンラインゲームで高額決済

スマートフォンなどで他の利用者と同時に遊ぶことができる「オンラインゲーム」が世代を問わず人気です。

オンラインゲームは一般的には最初は無料で遊ぶことができますが、ゲームを続ける場合や、アイテムの取得などは有料となり、途中で購入を求められます。特に近年、小学生や幼児などの低年齢の子どもがゲームに夢中になるあまり、アイテムなど大量に購入し、クレジットカード会社から数十万、なかには百万円を超える請求があったというトラブルが多発しています。

アドバイス

子どもがオンラインゲームでお金を使う場合、主に親のクレジットカードが利用されています。子どもが勝手にクレジットカード情報を使用してしまうほか、以前利用していた古いスマートフォンをおもちゃとして幼児に与えていたところ、自宅の無線LAN経由でインターネットにつながり、登録してあったクレジットカード番号で決済してしまったという事例もあります。

クレジットカードには「カードの名称人は、カードやカードを利用するための情報をきちんと管理しなければいけない」などのルールがあり、名義人ではない子どもが利用した場合にはカード会社から「管理責任」を問われます。簡単にクレジットカードを持ち出しできないよう、管理方法を工夫する、子どもが予測できないパスワードを設定するなどの対策をしましょう。

また、まわりの大人は、ゲームの料金体系や決済方法など、オンラインゲームの仕組みをしっかり理解し、日ごろから子どもとオンラインゲームについて話し合ったり、利用のルールを決めたりしておきましょう。

太宰府市消費生活センター

毎週月～金曜日（年末年始、祝日を除く）

午前9時30分～午後4時

（正午～午後1時までは昼休み）

※申込不要・無料

※電話での相談も受け付けています

（☎内線348まで）

場所 市役所2階消費生活相談室

弁護士による多重債務無料法律相談

毎月第3木曜日

午後1～4時（1人30分程度）

※申込が必要です。

〈問い合わせ・相談予約申込先〉

産業振興課 商工・農政係

（☎内線440）

地球にやさしいエコライフ 168

もったいない！～食品ロスを減らそう～

食品ロスとは？

まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。
食べ残したり冷蔵庫内で消費期限が切れたり腐れてしまったりしたものはありますか？

もったいない！年間643万トンがごみに…？

日本では年間約643万トンもの食品ロスが出ています。これは、国民一人あたり毎日お茶碗約1杯分(約139g)の食べものを捨てていることになるのです。
太宰府市でも、**もえるごみの約40%(約7,000トン)**が食品ロスという調査結果が出ています。(平成30年度もえるごみ組成調査)

野菜・果物の皮には栄養がいっぱい！捨てるなんてもったいない！

ニンジン

皮の近くに、「カロテン」や「カリウム」など栄養が多く含まれ、抗がん作用や風邪予防にも効果があると言われています。



ゴボウ

皮には「サポニン」が多く、高麗ニンジンと同じ成分が含まれ、若返りやダイエットに効果があると言われています。



キャベツ

キャベツの外側の葉には、動脈硬化を予防できる「ビタミンC」が、芯には健康成分として注目の「イソチオシアネート」や、「ビタミンU」も多く含まれています。



やってみよう！エコクッキング

消費者庁では、野菜の皮だけでなく「食材を無駄にしないレシピ」を料理レシピサイト「クックパッド」の「消費者庁のキッチン」で紹介しています。簡単にできるエコレシピがたくさんあります！

例) カレーやミネストローネのリメイクレシピ、ヨーグルト1個使い切りケーキレシピ など

その他にも野菜の保存方法や選び方など役に立つ情報が満載なのでぜひご覧ください！

消費者庁のキッチン ☞ <https://cookpad.com/kitchen/10421939>

食材の使い方や調理方法だけでなく、食べ残しをしない、食べられる量だけ買う、月に1度余った野菜などでスープや鍋にして冷蔵庫の中身をリセットするなど、食品ロスを減らす方法はさまざまです！

まずは、自分ができることから始めてみましょう！

参考 消費者庁【食品ロス削減】食べもののムダをなくそうプロジェクトHP
問い合わせ 環境課環境保全係（☎内線308）